

○ 香川県のがんの状況

(1) 生活習慣病による死亡状況

- ・香川県の令和5年の全死亡者数は13,653人であった。
- ・死因の1位はがん2,986人(21.9%)、2位は心疾患2,192人(16.1%)、3位は老衰1,809人(13.2%)、4位は誤嚥性肺炎926人(6.8%)、5位は脳血管疾患847人(6.2%)であった。

① 生活習慣病による死亡者の推移(香川県)

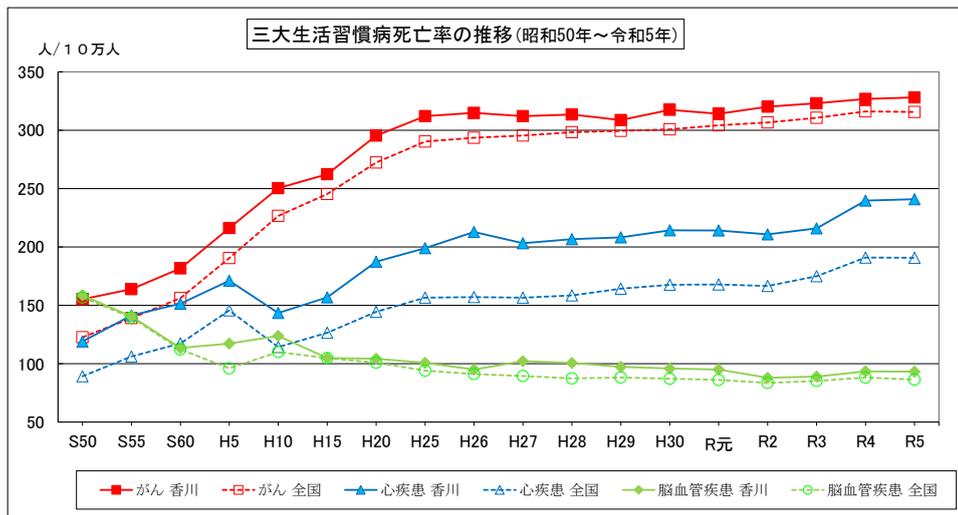
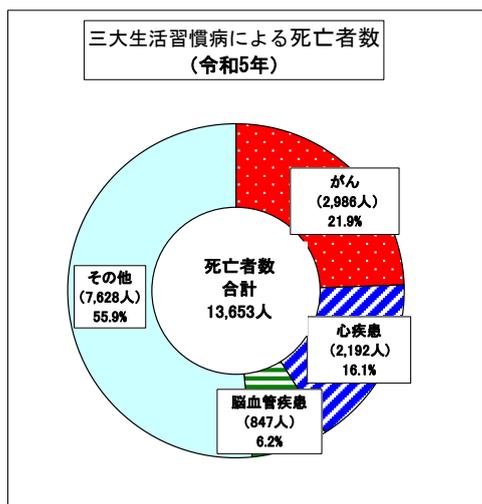
(単位：人)

区分	S50	S55	S60	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
がん	1,492	1,619	1,878	2,212	2,569	2,660	2,942	3,055	3,067	3,024	3,022	2,960	3,023	2,968	3,001	3,005	3,007	2,986
心疾患	1,144	1,396	1,565	1,750	1,470	1,590	1,867	1,947	2,073	1,970	1,993	1,997	2,039	2,023	1,976	2,008	2,205	2,192
脳血管疾患	1,525	1,386	1,174	1,199	1,270	1,064	1,038	986	925	990	970	933	913	898	824	827	859	847
全死亡数	7,312	7,418	7,516	8,603	9,104	9,556	10,645	11,512	11,503	11,593	11,908	11,894	12,169	12,148	12,183	12,329	13,552	13,653

② 生活習慣病による死亡率の推移(香川県・全国)

(単位：人/10万人)

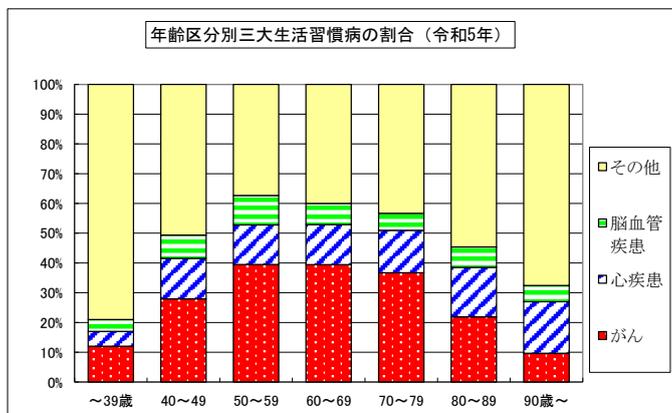
区分	S50	S55	S60	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	
がん	香川	155.2	163.9	181.6	216.2	250.4	262.3	295.4	312.1	314.9	312.0	313.5	308.7	317.5	314.1	320.2	323.1	326.8	328.1
	全国	122.6	139.1	156.1	190.4	226.6	245.4	272.3	290.3	293.5	295.5	298.3	299.5	300.7	304.2	306.6	310.7	316.1	315.6
心疾患	香川	119.0	141.4	151.4	171.1	143.4	156.8	187.4	198.9	212.8	203.2	206.7	208.2	214.2	214.1	210.8	215.9	239.7	240.9
	全国	89.2	106.2	117.3	145.6	114.2	126.5	144.4	156.5	157.0	156.5	158.4	164.3	167.6	167.9	166.6	174.9	190.9	190.7
脳血管疾患	香川	158.6	140.4	113.5	117.2	123.7	104.9	104.2	100.7	95.0	102.1	100.6	97.3	95.9	95.0	87.9	88.9	93.4	93.1
	全国	156.7	139.5	112.2	96.0	110.0	104.7	100.9	94.1	91.1	89.4	87.4	88.2	87.1	86.1	83.5	85.2	88.1	86.3



③ 三大生活習慣病による年齢区分別死亡数と割合

(令和5年)
(単位：人)

区分	～39歳	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
死亡者数	100	154	375	860	2,581	4,689	4,894
がん	12 (12.0%)	43 (27.9%)	148 (39.5%)	339 (39.4%)	947 (36.7%)	1,026 (21.9%)	471 (9.6%)
心疾患	5 (5.0%)	21 (13.6%)	50 (13.3%)	116 (13.5%)	369 (14.3%)	781 (16.7%)	850 (17.4%)
脳血管疾患	4 (4.0%)	12 (7.8%)	37 (9.9%)	61 (7.1%)	147 (5.7%)	320 (6.8%)	266 (5.4%)
その他	79 (79.0%)	78 (50.7%)	140 (37.3%)	344 (40.0%)	1,118 (43.3%)	2,562 (54.6%)	3,307 (67.6%)



④ 総死亡に占めるがんの割合(R5)

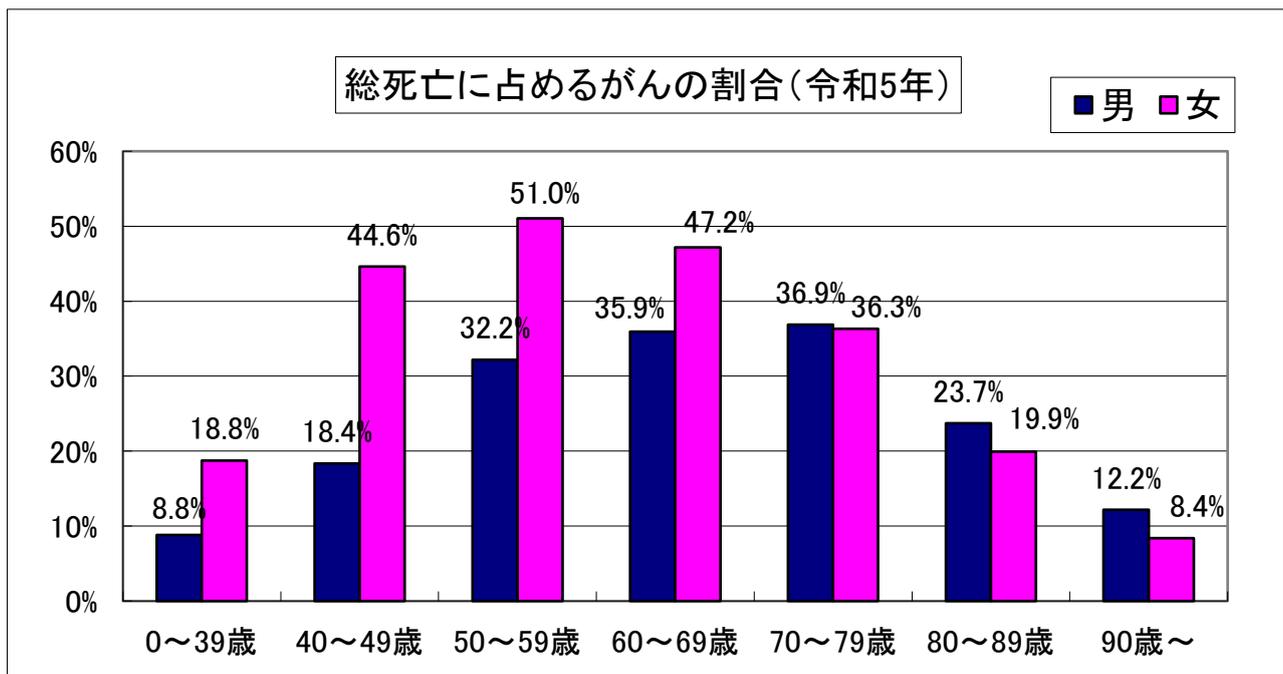
- ・ 男性は70歳代が最も高い。
- ・ 女性は50歳代が最も高く、5割以上である。

(単位：人)

総死亡数	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	13,653	100	154	375	860	2,581	4,689	4,894
	男	6,697	68	98	230	593	1,705	2,426	1,577
	女	6,956	32	56	145	267	876	2,263	3,317

がん死亡数	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	2,986	12	43	148	339	947	1,026	471
	男	1,707	6	18	74	213	629	575	192
	女	1,279	6	25	74	126	318	451	279

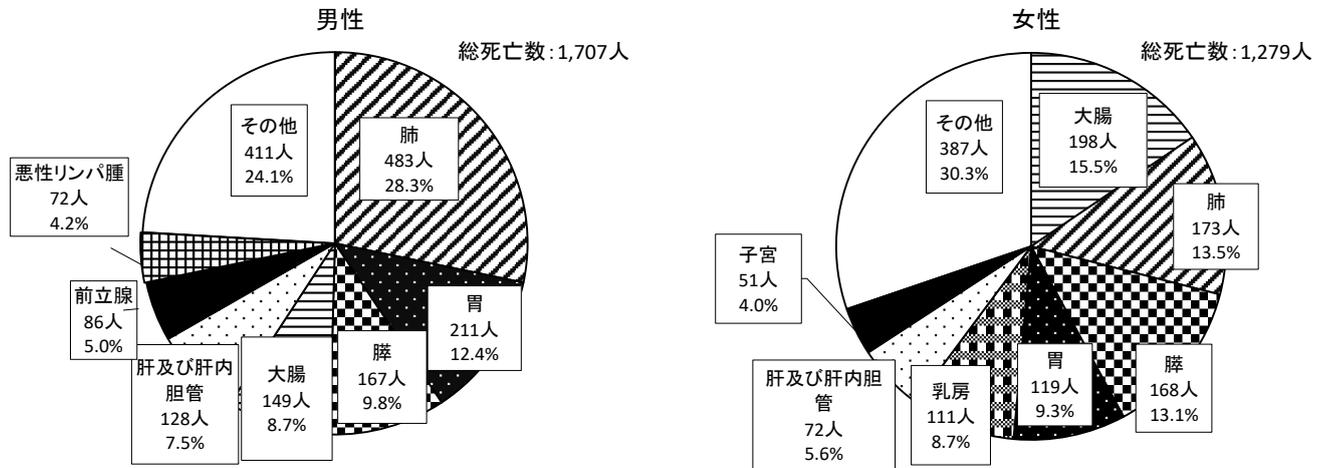
総死亡に占めるがんの割合	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	21.9%	12.0%	27.9%	39.5%	39.4%	36.7%	21.9%	9.6%
	男	25.5%	8.8%	18.4%	32.2%	35.9%	36.9%	23.7%	12.2%
	女	18.4%	18.8%	44.6%	51.0%	47.2%	36.3%	19.9%	8.4%



(2) がんによる死亡の状況

①がんの性別・部位別死亡数の内訳

令和5年のがんによる死亡数は男性1,707人、女性1,279人、計2,986人となっている。
 男女別の内訳をみると、男性では「肺」(28.3%)が最も多く、次いで「胃」(12.4%)、「膵臓」(9.8%)の順となっている。女性では「大腸」(15.5%)が最も多く、次いで「肺」(13.5%)、「膵」(13.1%)の順となっている。



②がんの部位別死亡数の推移

<総数>

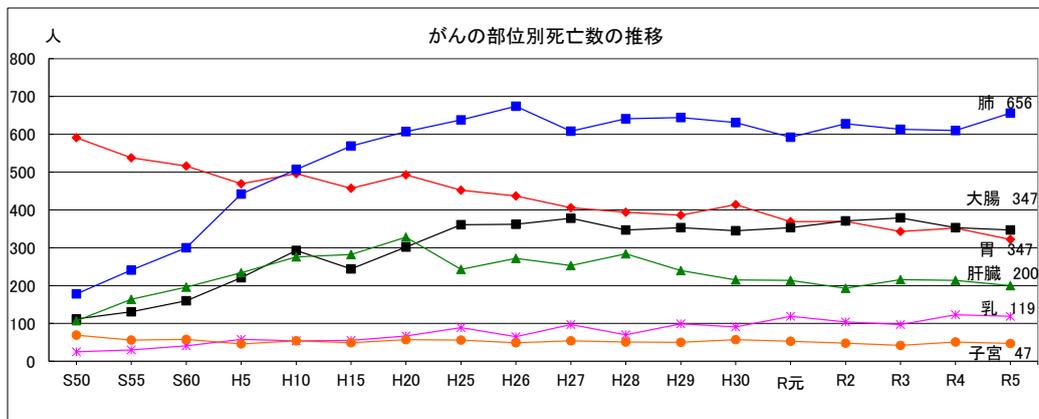
大腸がんは横ばい傾向にあり、胃がんは減少傾向にある。

(単位: 人)

区分	S50	S55	S60	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
肺	178	241	300	442	507	569	607	638	674	608	641	644	631	592	628	613	610	656
胃	591	538	516	469	496	457	493	452	437	406	394	386	414	369	370	343	352	322
大腸	112	131	160	221	293	244	302	361	362	378	347	353	345	353	371	379	353	347
肝臓	107	164	196	234	276	282	328	243	272	253	284	240	215	214	193	216	214	200
乳	25	30	41	58	54	55	67	89	65	97	70	99	91	119	104	97	123	119
子宮	69	56	58	46	54	49	57	56	49	54	51	50	57	53	48	42	51	47

(注) 大腸は結腸と直腸S状結腸移行部を示す。
 肺は気管・気管支及び肺を示す。

肝臓は肝及び肝内胆管を示す。
 乳がんと子宮がんは女性の死亡数のみである。



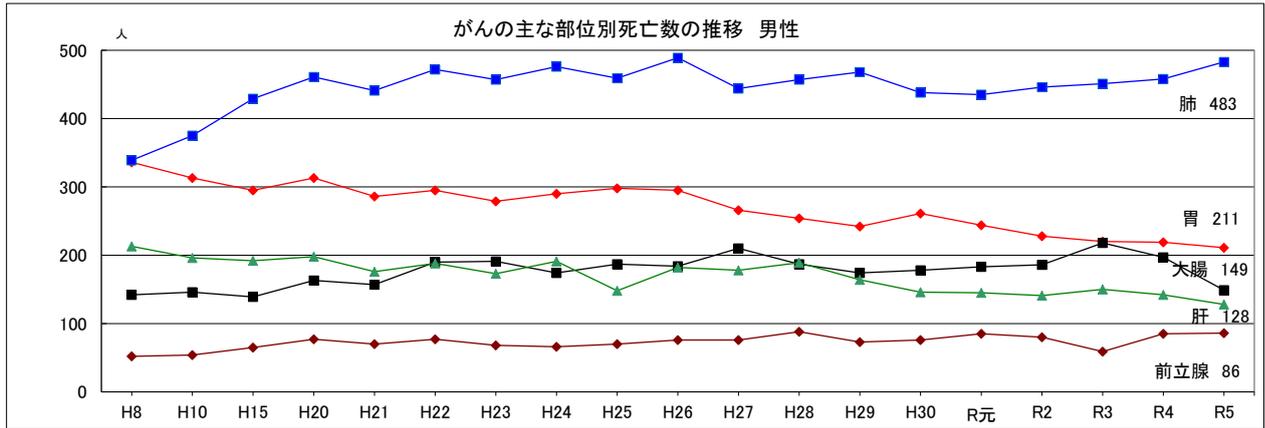
<男性>

- ・胃がんは減少傾向にある。

(単位:人)

区分	H8	H10	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
肺	339	375	429	461	441	472	457	476	459	489	444	457	468	438	435	446	451	458	483
胃	336	313	295	313	286	295	279	290	298	295	266	254	242	261	244	228	220	219	211
大腸	142	146	139	163	157	190	191	174	187	184	210	187	174	178	183	186	218	197	149
肝臓	213	196	192	198	176	188	173	191	148	182	178	189	164	146	145	141	150	142	128
前立腺	52	54	65	77	70	77	68	66	70	76	76	88	73	76	85	80	59	85	86

(注)大腸は結腸と直腸S状結腸移行部を示す。 肝臓は肝及び肝内胆管を示す。
肺は気管・気管支及び肺を示す。

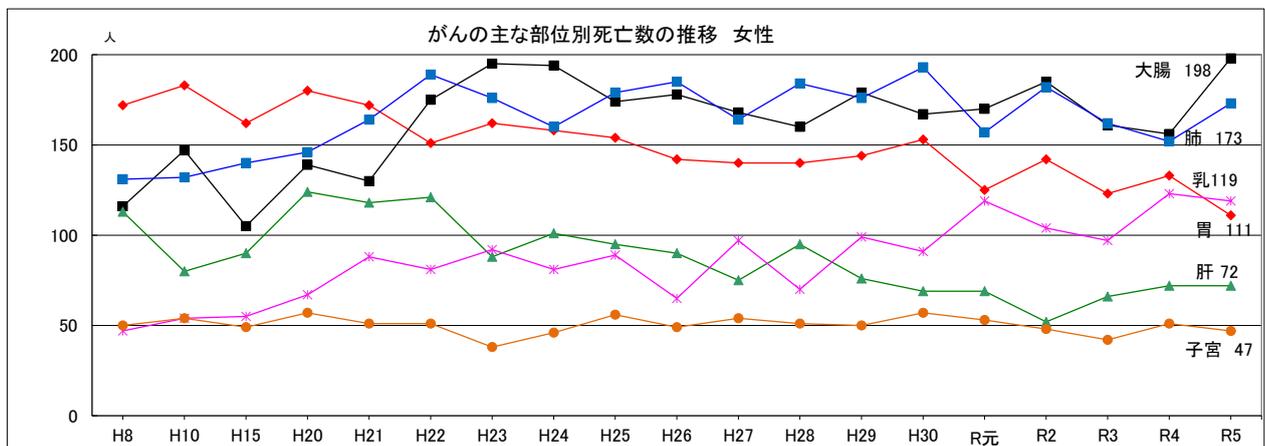


<女性>

- ・乳がんは増加傾向にある。
- ・子宮がんは横ばい傾向にある。

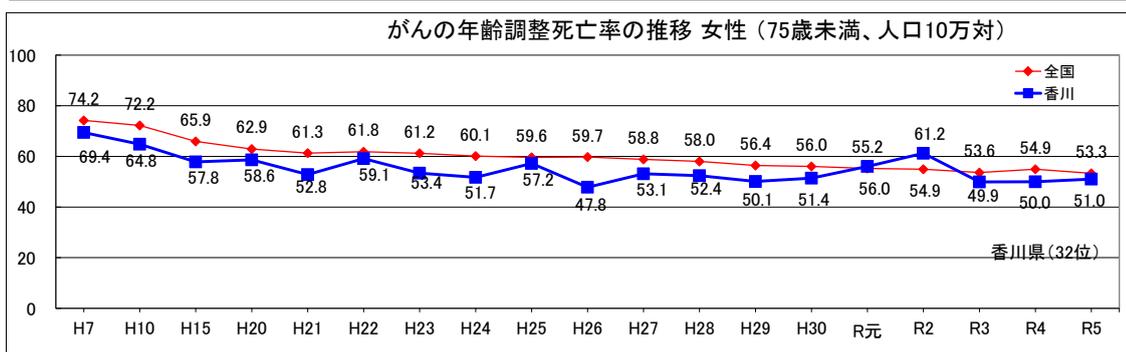
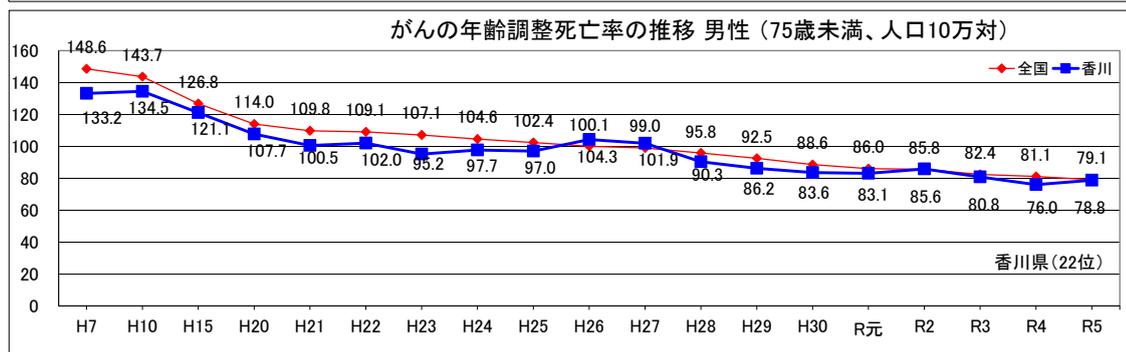
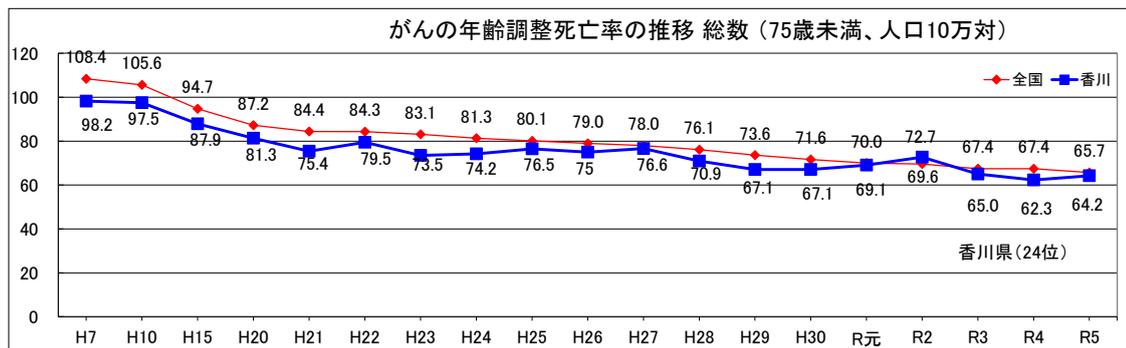
(単位:人)

区分	H8	H10	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
肺	131	132	140	146	164	189	176	160	179	185	164	184	176	193	157	182	162	152	173
胃	172	183	162	180	172	151	162	158	154	142	140	140	144	153	125	142	123	133	111
大腸	116	147	105	139	130	175	195	194	174	178	168	160	179	167	170	185	161	156	198
肝臓	113	80	90	124	118	121	88	101	95	90	75	95	76	69	69	52	66	72	72
乳房	47	54	55	67	88	81	92	81	89	65	97	70	99	91	119	104	97	123	119
子宮	50	54	49	57	51	51	38	46	56	49	54	51	50	57	53	48	42	51	47



③がんの年齢調整死亡率 総数・男女別(75歳未満、人口10万対)

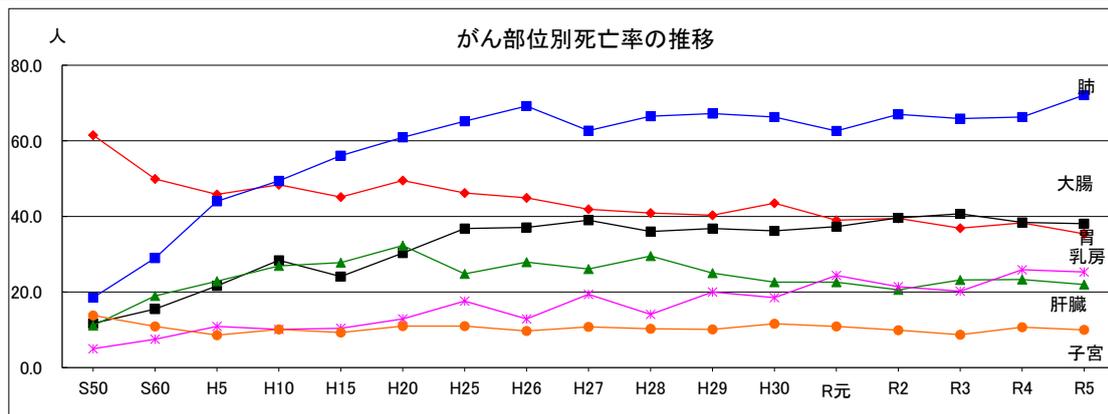
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対)をみると、全国と同様に減少の傾向にあり、令和5年では64.2となっており、全国(65.7)より低い状況である。



(参考)主な部位別死亡率の推移(人口10万対)

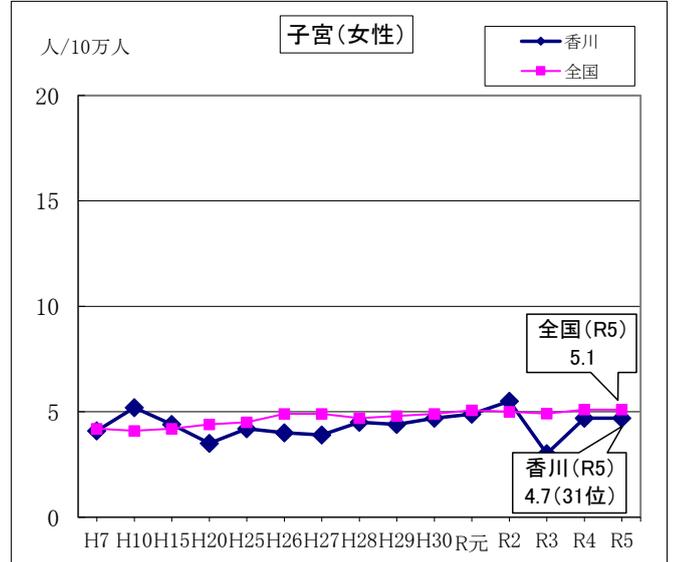
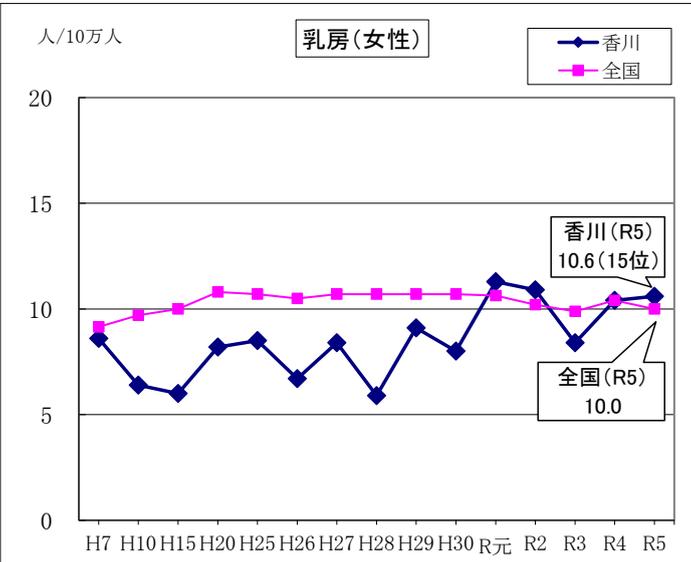
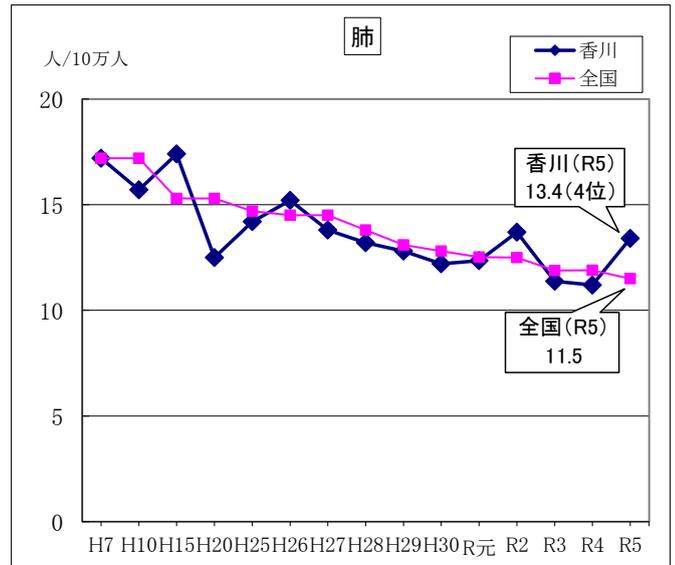
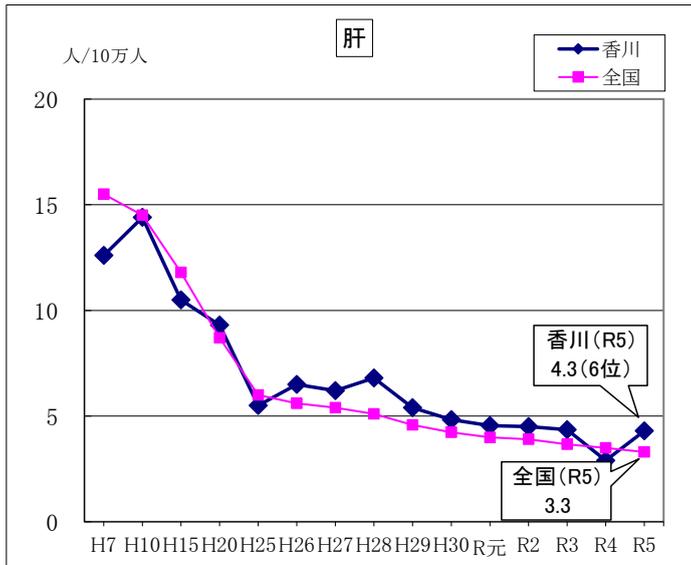
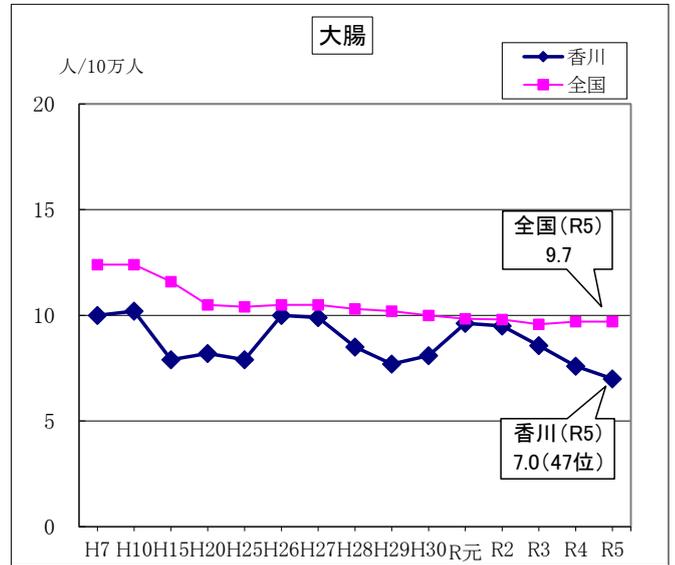
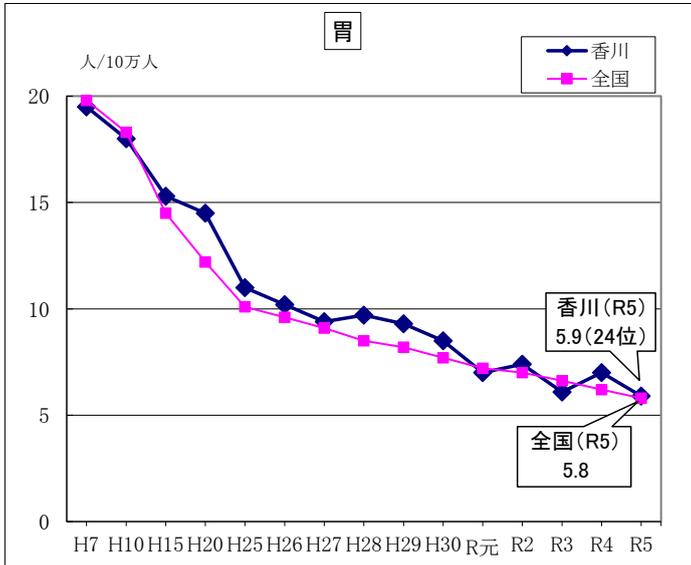
乳がんと子宮がんは女性のみ

区分	S50	S60	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
肺	18.5	29.0	44.0	49.4	56.1	60.9	65.2	69.2	62.7	66.5	67.2	66.3	62.6	67.0	65.9	66.3	72.1
胃	61.5	49.9	45.8	48.4	45.1	49.5	46.2	44.9	41.9	40.9	40.3	43.5	39.0	39.5	36.9	38.3	35.4
大腸	11.7	15.5	21.6	28.4	24.1	30.3	36.8	37.1	39.0	36.0	36.8	36.2	37.3	39.6	40.7	38.4	38.1
肝臓	11.1	19.0	22.9	26.9	27.8	32.3	24.8	27.9	26.1	29.5	25.0	22.6	22.6	20.6	23.2	23.3	22.0
乳	5.0	7.5	10.9	10.1	10.4	12.9	17.6	12.9	19.4	14.1	20.0	18.5	24.4	21.4	20.2	25.9	25.3
子宮	13.8	10.9	8.6	10.1	9.3	11.0	11.0	9.7	10.8	10.3	10.1	11.6	10.9	9.9	8.7	10.7	10.0



④主な部位別年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万対）

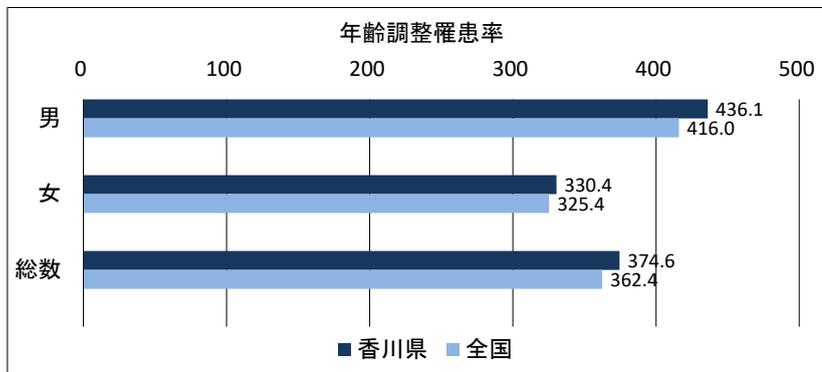
- ・ 胃がん、肝がんは減少傾向にある。
- ・ 大腸がんは全国平均より低い値で推移している。
- ・ 乳がんは年による変動が大きいですが、令和5年においては全国平均よりやや高い。
- ・ 子宮がんは横ばい状態で、令和5年は全国平均より低い。



(3) がんの罹患状況

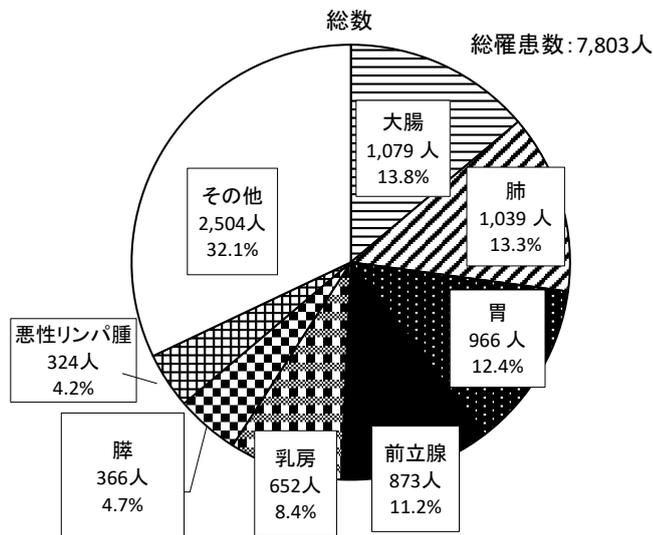
①がんの罹患数(人)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)

	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率		
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
香川県	4,539	3,264	7,803	988.5	664.7	821.2	436.1	330.4	374.6
全国	534,814	410,238	945,055	871.7	633.1	749.2	416.0	325.4	362.4



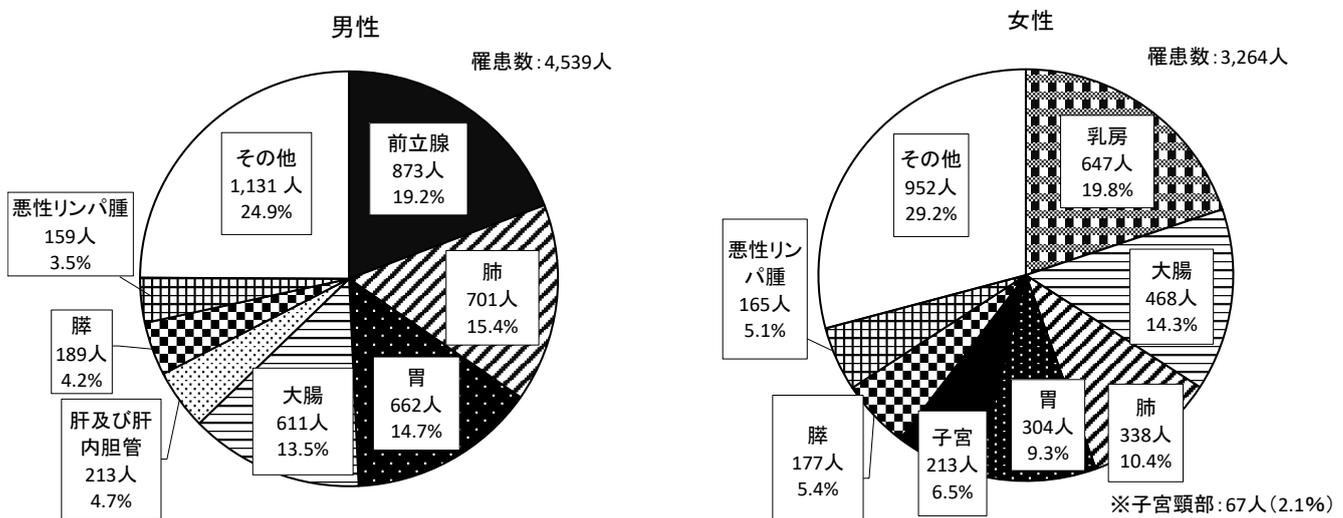
②がんの部位別罹患数の内訳

2020年のがんによる罹患数の内訳をみると、「大腸」(13.8%)が最も多く、次いで「肺」(13.3%)、「胃」(12.4%)、となっている。



③がんの性別・部位別罹患数の内訳

2020年のがんによる罹患数について、男女別の内訳をみると、男性では「前立腺」(19.2%)が最も多く、次いで「肺」(15.4%)、「胃」(14.7%)の順となっている。女性では「乳房」(19.8%)が最も多く、次いで「大腸」(14.3%)、「肺」(10.4%)の順となっている。



④主な部位別年齢調整罹患率(人口10万対)

